

加藤学園高等学校

3年生の想いと純粋な競争が育んだ強さが魅力
見えないプレーでも相手を制して聖地の土を踏む

この春、シード権を懸けた一戦で惜敗し
てからは、「実力を認めて、何が足りなかつたのかを考えて練習しよう」(米山監督)と、気持ち新たに夏へと向かっている。

強みは、太田主将を筆頭に実戦経験豊富な選手たちがチームを牽引していること。そこに「軸となるバッテリ」がさらに成長してきてくれたら」と指揮官は言う。また、春は得点力に課題が残ったこともあり、「アウトの取られ方やランナーの生かし方などを見つめ直して、同じアウトでも相手にダメージの残るアウトにすること」(監督)を意識。走塁やカバリングなど、記

録に残らないプレーも細部にこだわること
で、得点に繋げられるよう努力を重ねている。日頃の練習は、個人のレベルアップよりも選手間の共通認識を高めることを優先。様々なケースを想定し、戦略的な要素を多く含んだトレーニングに励むことで「みんながひとつのボールに向かってプレーするチーム」(監督)を築いてきた。

見据えているのは、もちろん夏の聖地。3年生が中心となってまとめてきたチーム力と、純粋な競争が育んだ強さを武器に、73人全員で甲子園を目指す。



春季県大会ベスト16

センター 太田侑希 2年

パワーのある打撃とスピード、センスの持ち主。負けず嫌いな性格と冷静さが野球でも生かされている。太田主将の弟

レフト 井土駿太 3年

打つ、投げる、走るといった全てのレベルが高く、「経験を武器にチームを牽引してほしい」と監督も期待を込める逸材

サード 曾根敬太 2年

勝負強いバッティングが持ち味で、チャンスの場面で大事な1本を放つ。守備でもしぶといプレーが光るなど攻守で貢献

ファースト 藤澤光輝 2年

脚力や肩の強さなど大きなポテンシャルを秘めた選手の一人。思いきりと元気の良さでもチームを支え、勝利に貢献している

ライト 水田裕翔 3年

公式戦の舞台を多く経験してきた選手の一人。反対方向へ飛ばす長打が魅力で、「夏は思いきり勝負してほしい」と監督

セカンド 水口太一 3年

負けず嫌いな勝負強さを全面に出したプレーが持ち味。野球と向き合う姿勢や仲間への声掛けなど、精神面でもチームを支える

ピッチャー 船橋知聖 3年

テンポの良い投球と制球力、安定感を武器にアウトを重ねる左のサイドスロー。1年時には夏の代替大会でベンチに入る経験も

ピッチャー 石山拓真 3年

多くのマウンドを経験してきた右腕。多彩な球種をコントロール良く投げ分ける。「精神的な安定感も魅力のひとつ」と監督

ショート 太田圭哉 3年 主将

1年時から公式戦に出場してきた経験豊富な遊撃手。抜群のスピードを武器に、思いきり良くバットを振りチームを引っ張る

はみだしメモ

HAMIDASHI MEMO

春の県大会では2戦連続で継続試合となった。「一生懸命練習してきたことを発揮する舞台。仕切り直して、翌日に綺麗なグラウンドで試合をさせてもらったことにとでも感謝しています」と米山監督。珍しい経験も、夏へと向かうチームの糧となっている。

監督 / 米山学 責任教師 / 山田泰基 主将 / 太田圭哉
部員数 / 73名 創部年 / 1996年

遊	太田圭哉	3年	焼津大富	外	勝田智己	3年	東京福生第二
左	井土駿太	3年	沼津大岡	投	白岩大誠	3年	藤枝
中	太田侑希	2年	焼津大富	投	吉川慧	2年	愛知尾西第三
右	水田裕翔	3年	焼津大富	投	小島拓己	3年	神奈川伊勢原
二	水口太一	3年	長泉北	投	飯田颯	3年	伊豆の国大仁
三	曾根敬太	2年	町清水	投	石井鈴	3年	伊豆修善寺
投	大木漣	2年	沼津第三	投	菊川俊希	3年	藤枝広幡
一	藤澤光輝	2年	長野岡谷北部	内	小林千哩	3年	町清水南
捕	小林龍芽	3年	茨城古河第一	外	佐野幸多	3年	富士宮富士根南
投	石山拓真	3年	長野長峰	投	佐野竜希	3年	富士吉原東
投	船橋知聖	3年	愛知篠岡	投	塩川颯音	3年	御殿場富士岡
捕	大窪太陽	2年	富士南	内	中村奏希	3年	東京青梅第二
内	池田真翔	2年	三重橋南	外	林口知瑛	3年	長泉北
内	緒方希匠	3年	兵庫鷹取	捕	山本航大	3年	函南
外	目片斗和	3年	兵庫ゆりのき台	内	湯原颯太	3年	沼津第五
内	安東飛雅	2年	兵庫原田	内	森岡紘大	3年	沼津大岡